

活力と潤いのある ふるさとの創造に向けて



明和町長
齋藤 憲

町民の皆様、新年明けましておめでとございます。

皆様にはご家族おそろいで、輝かしい新春を健やかに迎えたいと心からお慶び申し上げます。また常日ごろより町政各般にわたりましては、温かいご理解とご支援を賜り、衷心より厚くお礼を申し上げます。

早いもので、明和町も町制施行以来5年を迎えようとしております。この間、お陰様で町政も順調に進んできております。しかしながら国の内外に目を向けますと、北朝鮮による拉致問題、国連査察団におけるイラク国内への査察の実施。そして昨年からのBSE問題、産地偽装、適正を欠いた農薬の使用など、特に食の安全に対する問題が広く国民の関心を集めた年でもあったような気がいたします。

また、少子高齢化や国際化、高度情報化が益々進むなかで、

経済不況による産業構造の改革など社会経済が大きな変革を迎えており、地方においても地方分権の進展や住民の価値観、ライフスタイルの多様化が地域社会や住民生活に大きな変化をもたらした年でもございました。

このような厳しい状況の中ですが、本町は幸いにも町議会をはじめ、町民皆様のご支援、ご協力によりまして、健全財政を堅持しながら昨年引き続き「新しいわ創造プラン」策定事業、そして環境基本計画の策定に要する調査委託などのソフト事業をはじめとして、主要事業の東小学校屋内運動場改築事業、プール改築事業の実施、また公共下水道事業など従来からの諸事業等も併せて実施し、次代に向けての基盤づくりを着実に押し進めることができました。

新たに迎えた平成15年は、第四次総合計画の仕上げの段階と

して位置付け、未来を創造する明和文化のまちづくりの実現のために、夢や希望に満ちた活力と潤いのあるふるさとの創造に向けて、なお一層皆様の創意と英知を結集し全力を傾注してまいりたいと考えております。そのためには、3年目を迎えた公共下水道事業をはじめとして、農業集落排水事業の推進、昭和橋の架け替えおよび関連の国道122号線渋滞緩和のバイパス建設事業の早期実現など、残された重点課題に積極的に取り組んでまいれる所存でございます。

また、役場庁舎建設については、役場庁舎基本計画検討委員会の答申に基づき、新たな組織を設置して検討を重ね、町民の利便性を第一に考慮しながら、また行政の拠点にふさわしい庁舎の建設に向けて、整備を進めてまいりたいと思っております。さらに、環境に与える負荷の削減を目的しISOの認証取得に取り組む考えてございます。

併せて、新しいまちづくりの指針である第五次総合計画や都市計画マスタープランの策定に向けた、新しいわ創造プランの策定を進める所存でございます。

今後とも相変わらぬご支援、ご厚情をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健康とご繁栄を心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。